

㍻㍻～田植えだより～㍻㍻

新永塚田んぼ は、6月3日に田植えをしました。

前日、欠ノ上田んぼに置かせてもらった苗の苗取りをしていると、同じ日に田植えだった欠ノ上田んぼの方々が、苗取りしながらすぐ隣の田んぼに田植えをしてゆく手際良い作業を横目で見ながら、少し焦りつつ、永塚へ移動、その日の午後には少し田植えを始められました。

田植え当日は雨の予報が変わり、曇り時々晴れと絶好の田植え日和になり、大人13名子供4名のメンバーで順調に田植えを終える事ができました。苗の成長がイマイチで、少し小さめなのが課題として残りましたが、ちょうど後片づけをしている時に雨が降り始めたりとタイミングも良く楽しい田植えとなりました。

今年は去年の原発問題でメンバーが大きく変わったり、今までとはやり方を変えてゆく田んぼが多いと聞きます。皆それぞれ考え方や事情が異なりますが、今年もあしがら各地でお米作りが始まりました。 光曜堂 坂倉(いた)

はじめまして。今年の4月から「山北田んぼの会」に参加させていただいている鈴木です。山北田んぼでは、6月2～3日で無事田植えが終了しました。手植えのほうはセル苗がかなりよくできて、大人19人子ども4人、ワイワイとにぎやかに何の問題もなく作業できました。

3日は山北田んぼ初の機械植えに挑戦。朝一番、機械操作の指導に来てくださったそらやさんから「こんなに代かきがボコボコだと難しいよ」と言われ、一同ボーゼン(笑)。でも、根性で植え切りました。箱苗の生育が不均一だったり、田んぼの水平が悪くて苗が水没してしまったり、こちらは来年へ向けた課題がいっぱいです。

私は20代のころ、稲作農家になりたくて福島県・会津の農家に単身飛び込み、3年ほど研修させていただいたことがあります。結局農家にはなれませんでした。米づくりがあまりに楽しかったので、「家庭菜園みたいな感じで一般人でも田んぼができればいいのに」とずっと思っていました。農の会ではそれが現実となっています。スゴイことだと思います。地主さんたちの信頼を得られるような活動を続けてこられた皆さんに、敬意を表します！

そんな感じで、山北の田植え報告と簡単な自己紹介でした。これからどうぞよろしくお願いいたします♪

鈴木江美留



欠の上田んぼ 田植え私記

6月2日(土) 午前6時に横浜を出発。246号線の寄で眠気覚ましに缶コーヒーを飲むが、不覚にも1時間寝てしまう。作業開始に遅れ、恐縮するばかり。

午前中は田植え。昼の休憩時、小麦畑に行く。みかんの花の甘い香りの中で、先日摘んだお茶をいただく。荒らされた畑を前に、奇妙な考えが浮かぶ。「ドリトル先生か名探偵コナンなら、犯人がすぐわかるのではないか？」田植えに来る途中、「ドリトル医院」いう動物病院の看板を見たせいと思われる。こんなことは、誰にも言えない。そっと胸にしまい、午後の作業に向かう。田植えと明日の準備を行う。

6月3日(日) 朝まで降った雨はやみ、曇りからしだいに晴れに。この日も作業に遅れる。万全を期して、箱根の保養所に泊まったが、会計は8時から。田植えのスタートも8時。「すみません。」を連発しながら、田植えに加わる。

午後3時前、田植え終了。植え終えた苗が、風にゆれながら水面に映っていた。ツバメが田んぼの上を気持ちよさそうに飛んでいく。

午後4時、畦の水漏れの修復が完了し、解散。2日間、メンバーの皆さんにはたいへんお世話になり、ありがとうございました。(恩田哲司)

国土保全に

相原 海

竜巻のニュースがあった日、こちらは雹でした。幸い一昨年建てたばかりのビニルハウスには被害なく、ホッとしましたが、茨木や栃木は震災に重ねての被害、可哀想と言う前に、こういう災害からの立ち上がり、個人に背負わせるのは無理があるなあーと思います。

思えばうちも、爆弾低気圧でハウスを潰され、豪雨で崖が崩れたり色々ありましたが、山北の和田さんたちは年に何回も道を流されている様子。百姓が儲からないのは良いとしても、こういうリスクまで個々の農家に背負わせるのは国土保全の上で得策なのでしょう？

震災の折には自衛隊が脚光を浴びましたが、あの人員と予算をもう少し災害復興の専門組織として、東アジアの気象災害に対応すれば・・・というのは、故小田実の提案でしたか。スーダンに道路作りに派遣される自衛隊員が、にわかにも重機の操作を勉強しているニュースを聞けば、一考に価する案と思うのです。

人が暮らす国土を侵すのは、お隣の最貧国だけとは限りません。それは電力会社かもしれないし、降ってくる物も同盟国の軍用ヘリの場合もあったのですから、もう少しリスクというものをフラットに評価できるといいですね。

新茶摘み 高橋准子
今年皆さんの努力のお陰で、足柄茶のセシウムの値が低く、念願のお茶摘みデビューを果たしました。新緑の中、やわらかいお茶の新芽をひたすら摘むなんて素敵だとあこがれていたのです。当日、家族は誰も都合がつかず、石井さんと一緒にさせていただきます。いっぱいおしゃべりしながらの作業は、やっぱりとても気持ちの良い楽しい一時でした。自分で摘んだ新茶を飲んだら、格別に美味しいことでしょう！楽しみます。来年もまた、今度は家族を参加させ、のんびりと堪能したいと思っています。

お茶の会

5/12、農の会恒例「新茶摘み」が行われました。急に雲が湧いたりわか雨が心配されましたが、1、2度パラついた程度でなんとか終わりまでもちこたえ、21グループの参加者で184kgの茶葉を手摘みしました。

わたしの記おくにのこっていないけれど、うまれてから毎年お茶つみをしてるそうです。
茶つみの服をきるにやる気ができてきます。
お茶の新めはやわらかくてツルツルしていかわいいです。
来年はもつみたいです。



高橋 和希



mako まこ



楽しいちやつみ 5/2
ふじみ小3年 柏木 麻子
今日、山のおくでちやつみをしました。つみかたは、新しいめ二まいくきがやわらかいと、ころをつみまます。355グラムを2人でつめました。色は、あざやかなみどりです。においは、スカとするにおいでした。また、いきたてです。たのしかったです。

素晴らしきかな小田原

瀬戸知子

私が小田原に住み始めたのは9年前。
京都に居たと言うと皆羨ましがってくれるけど、小田原に生まれ育った人がこの地の素晴らしさにちっとも気づいていないのが、余所者の私には本当にもどかしい。

栢山に住んでいると、山は富士・箱根・丹沢、川は酒匂川。田んぼが見渡せて、土手の松並木、遠く大島も望める。少し足を伸ばせばきれいな海が有り、伊豆・箱根もひとつ走り、手近に混まない温泉も有り、新幹線は止まるし、東京は近い。
古い町だけに、今どきのチェーン店でない古くからの店があるのは、郊外のショッピングモールしか持たない新興住宅地とは大違い。

冬でも半日で洗濯物の乾くこの地の太陽には驚き！京都人の知る「底冷えの冬」も「うだる暑い夏」もここにはない！

ほんまに、ええとこやのに、おろそかに思うたら、バチあたりまっせー。

〜ちよっといっぶくマンガ〜

ヤキュウラさん 作・お茶とゆかり



通信が置いてあるお店 「ポタジェラ」さんよ!

ギフト経済(分かち合いの経済)

先日、伊賀の里にある古民家に住み始めた友人から、筍が生えすぎて困っているから誰か欲しい人いませんか？と。そしてそれをもらったら、ギフト経済の実践をしてください。というよつなことがフェイスブックに書いてあった。今年、筍はそんなに食べていなかったな、とも思い(笑)、さっそく、うちの天然酵母パンを送るから、というよつなことを言いつて筍を受け取った。

単純に物々交換じゃないのかな、ギフト経済。というこを自分なりに考えてみて、代わりにパンを送るだけじゃなくて、思いがけず筍をいただけたことへの感謝の気持ちを他の誰かと分かち合う、ってことかなと思つて、この春アメリカから取り寄せたホーリーバジルというハーブの種とそらやさんのバターナッツの種を苗に育てて(これまたすぐ芽がでて困つた 笑)開店9周年ということもあって、お客様にギフトとしてもらつていただくことにして、けつこう喜んでいただけた、と思つた。

私の送つたパンはその後、昨日の友人のFBに写真がアップされていて、これまたまたまた来訪した、互いに共通の三十年来の友人と共に分かち合ったと書いてあった。「懐かしい未来」の提唱者である友人と新しいコミュニティの中心人物であるもう一人、彼らはきっと再会を喜び、パンを分かち合つただけではないだろう。

お客様にもらつていただいたホーリーバジルやバターナッツのその後は何？ 昨年の東日本大震災直前に、小田原の久野で始まつたパーマカルチャー講座で葉山のフィル・キャッシュマンさんから教えていただいた香りも用途も素晴らしいハーブ。フィルさんのパーマカルチャーという生き方と実践がホーリーバジルというギフトになつて私のところへやってきましたと思つた。それは、私にベランダ菜園を復活させて、種を手に入れたせ苗を育てさせた！ としてお客様のおうちのどこかで、夏を過ぎたころから、お茶や料理になつたりして、どなたかの心と体を癒すことになるかもしれない。はたまたパーマカルチャーを知るきっかけになるかもしれない。

いつもそらやさんの野菜をいただいている。ズッキーニが始めて、お客様が「どうしてこんなにズッキーニが甘いのか」と感嘆される。ただ窯で焼いただけなんですけど、単に野菜を買っているんじゃない、単なる有機無農薬野菜じゃない、ギフトが確実にそこにある。バターナッツも確かに苗になった。笑

お客様とのやり取りの中でそれは本当に実感すること。その広がりを思うと果てしないものがある、それがギフト経済、幸せな経済、ともいえるのかな。

最近耳にしたギフト経済からちよつと心に留めたことを書いてみました。これからもあしがら農の会のみなさん、よろしくお願ひいたします。

ポタジェラ 小澤ちひろ

